

STOP！転倒災害

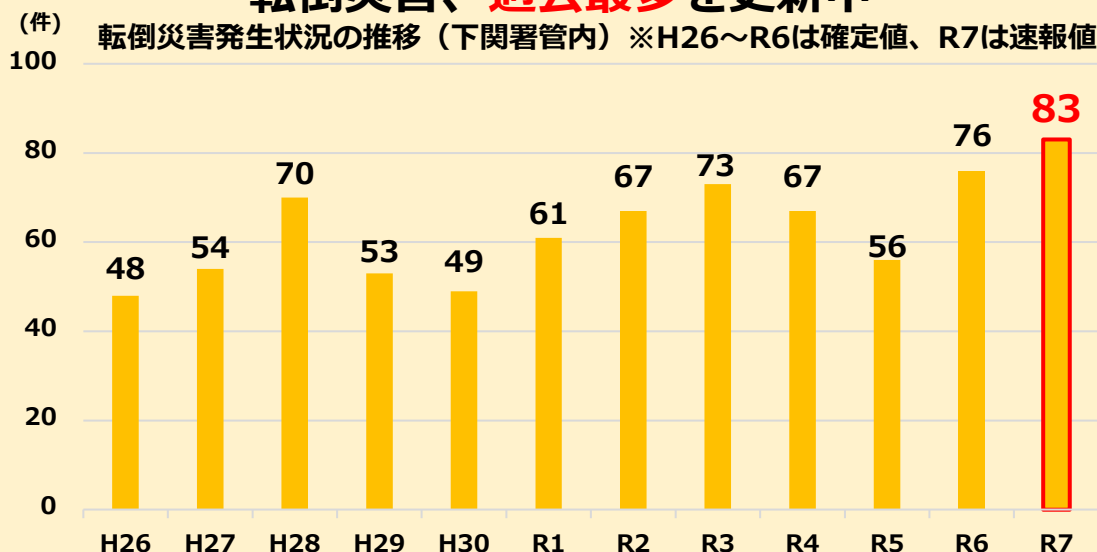
当署管内では、令和7年12月末における休業4日以上[※]の転倒災害（以下、「転倒災害」という。）の発生件数が過去最多を更新し、転倒災害防止対策が喫緊の課題となっています。

転倒災害の多くは、つまずきによるもので、転倒災害防止のためには、通路の設備改善と労働者の健康づくりが重要となります。

事業者の皆様におかれましては、今一度、事業場内の転倒災害防止対策の取組状況を確認いただきますようお願いいたします。

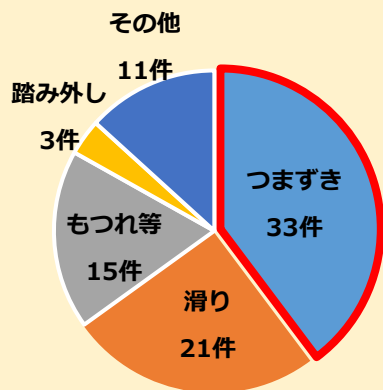
当署管内の転倒災害の傾向

転倒災害、過去最多を更新中



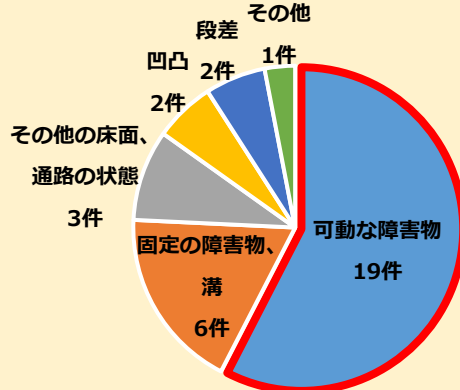
転倒災害は、つまずきによるものが最多

転倒災害における事故の型別内訳
（令和7年12月末（速報値）・下関署管内）



つまずきは、台車、歩行器など可動な障害物によるものが最多

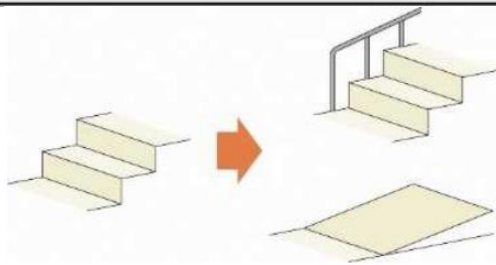
転倒災害（つまずき）の起因物内訳
（令和7年12月末（速報値）・下関署管内）



転倒災害防止のためには、
通路の設備改善、健康づくりが重要です！



転倒災害防止対策の例



階段には手すりを設け、可能な限り通路の段差を解消する



防滑靴を利用させる



朝礼時、休憩明けにストレッチをさせる



通路を含め作業場所の照度を確保する



水分・油分を放置せず、こまめに清掃する

例えば
戸口に
段差が
ある時



解消できない危険箇所に
標識等で注意喚起

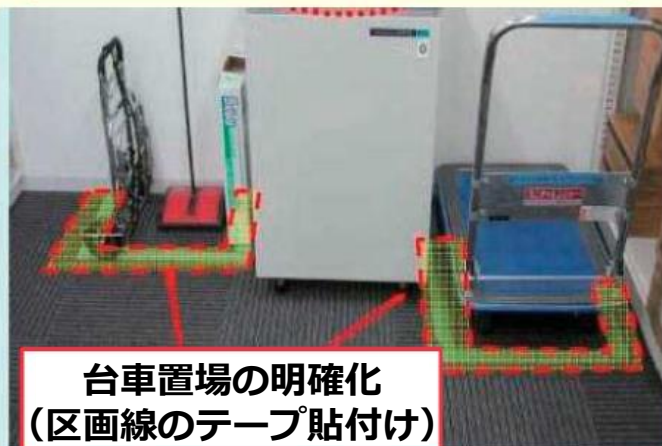
厚生労働省「エイジフレンドリーガイドライン」より引用



パーテーション脚のつまずき防止の為、
注意喚起の黄色テープを貼付け



通路に出る時の衝突防止の確認ミラーを設置



台車置場の明確化
(区画線のテープ貼付け)



作業中、作業エリアを示すカーコーン

厚生労働省「見える安全活動コンクール」優良事例トヨタ自動車（株）より引用